

社会福祉法人 京都市伏見区社会福祉協議会

令和5年度事業報告

令和5年度 事業報告

I. 総括

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の類型が変更されたことを契機に、多くの地域福祉活動が再開し、コロナ禍前のプログラムや活動時間に戻す等の事例も多くみられました。とりわけ、すべての学区社会福祉協議会で取り組まれている介護予防事業である健康すこやか学級事業の実施回数も、前年度に比べ大幅に増加する等、身近な地域のつながりや支え合い活動が活発になっています。

参集型の取組もより開催しやすくなり、「第71回伏見区社会福祉大会」をはじめ、健康すこやか学級事業の担い手を対象とした「健康すこやか学級活動交流会」、日常生活自立支援事業に従事する生活支援員を対象とした「生活支援員交流研修会」、夏休み期間を活用した青少年の福祉体験事業「ユースアクション2023」、伏見区ボランティアグループ連絡会と協力した「伏見区ボランティア入門講座」、子ども食堂での食事提供を支援する調理研修会「1日クッキングスクール」、子どもや高齢者の居場所づくり運営者を対象とした「情報交換会」の開催等、多様な関係機関・団体と連携する中で、充実した企画となりました。

また、学区社会福祉協議会活動懇談会を開催し、学区（地域）課題や学区社協活動の成果・課題、賛助会費募集活動の課題をテーマに、学区社協役員やボランティアの皆さまからのヒアリングを通じて、区内の地域課題や学区社協活動並びに賛助会費募集活動の現況と課題を集約し、報告書に取りまとめました。中でも、自治会加入世帯の減少に代表される地域社会でのつながりの希薄化や、担い手や実施会場の不足といった課題をあげる学区が多く、今後の事業を企画する上で、大変参考となる意見をたくさん頂戴することができました。

令和2年度に策定された「第4期伏見区地域福祉活動計画」も計画期間の最終年度を迎えており、計画の進捗状況を確認し、達成できたこと、未達成で次の活動計画に引き継ぐこと等の精査を行います。さらに、学区社会福祉協議会や関係機関・団体へのヒアリングを行う中で、区内の地域課題や地域福祉活動状況の把握、5年後に向けた学区社協活動重点プランの作成等を行うことで、「第5期伏見区地域福祉活動計画」策定につなげていきます。

また、分野や属性を横断した相談支援、参加支援、地域づくりに向けた取組を一体的に実施する「重層的支援体制整備事業」にも積極的に関与し、ともに生きる福祉のまち伏見の実現に向けて、取り組んでまいります。

II. 重点事業

1. 第4期伏見区地域福祉活動計画の推進

「第4期伏見区地域福祉活動計画」が4年目となり、伏見区内全学区社協において、地域の状況、学区社協の抱える課題などを話し合う懇談会を行いました。懇談会では、改めて、人手不足、担い手と参加者ともに高齢化していることなど、率直な意見が出されました。出された課題や意見は、令和6年度に控える「第5期伏見区地域福祉活動計画」の基本となる情報として活用していきます。

2. 区・学区社協の安定的な運営に向けた賛助会員募集活動の強化

上記、学区社協活動懇談会において、各学区における募集方法等に関する意見や課題についてお聞きし、募集資材の見直しに着手しました。しかし、抜本的な見直しのために組織・財政委員会で検討を行う調整を行いましたが、開催することができませんでした。

今後も、区社協の安定した運営を継続していくために、引き続き経費節減や支出内容の見直しを図る取組を進めます。

3. 総合相談事業を活かした重層的支援構築に係る対応

あんしん支援員事業を中心に、区役所の各担当課、支援機関、京都市社協と連携し、社会的孤立やひきこもり、生活困窮、権利侵害等、複合的な課題に対して、分野や属性を超えた支援体制づくりに取り組みました。

今後は、地域住民、市民活動など巻き込み、相談支援・参加支援・地域づくりに向けた支援を一体的に推進する「重層的支援」に係る対応を進めます。

4. 大規模自然災害に対応した災害時支援活動の強化

災害発生時に、被災者および被災地域の早期の復旧、復興のため設置される区災害ボランティアセンターについて、訓練会場近隣の学区社協をはじめ、行政や関係機関・団体等と連携し、設置・運営訓練を実施しました。

また、中小企業家同友会の方々の参画を得て、被災者のヒアリングを行うなど、より実践的な訓練を行うことができました。

Ⅲ. 事業概要

1. 法人運営事業

1) 会務運営事業

〔成果〕

正副会長会議、理事会・評議員会等の会務運営事業を、計画的に開催し、役員や関係機関・団体、行政機関に対して、法人の活動状況・方針や、地域福祉課題・先進事例等の情報共有を行い、共に生きる「福祉のまち伏見」の実現に向けて、役職員一体で取り組むことに努めました。

〔課題〕

賛助会費募集実績が年々減少しており、20年前の約7割の実績となっています。

学区社協懇談会で寄せられた募集活動上の現状や課題を分析し、実績現象に歯止めをかけるため、組織・財政委員会を中心に協議していくことが求められます。

(1) 正副会長会議の開催

開催日	内容
令和5年5月25日	(1)会務運営の諸日程について (2)諸会議の議案について (3)学区社協活動懇談会について (4)学区社協活動交流研修会について (5)健康すこやか学級事業レクリエーション研修会について (6)伏見区子どもの居場所づくり研修交流会について
令和5年10月2日	(1)第71回伏見区社会福祉大会について (2)区社協会長表彰審査について (3)伏見区社会福祉協議会各委員会委員委嘱について (4)伏見区社会福祉協議会各委員会開催について (5)令和5年度 伏見区子どもの居場所づくり情報交換会について
書面開催	(1)令和5年度 第3回 理事会について【書面開催】 (2)令和5年度 第4回 理事会について (3)令和5年度 第2回 評議員会について (4)令和5年度 第2回 伏見区地域福祉推進委員会について (5)各会議の役割分担について

(2) 理事会・評議員会・評議員選任解任委員会の開催

①理事会の開催

開催日	内 容
令和5年6月9日	(1)顧問及び参事の委嘱について (2)理事候補の選任について (3)監事候補の選任について (4)評議員の補充選任候補者の推薦について (5)令和4年度 事業報告(案)ならびに一般会計収支決算(案)の承認について (6)定款の変更について (7)諸規程の改正について (8)評議員会の開催について (9)評議員選任・解任委員会の開催について
令和5年6月27日	(1)会長ならびに副会長の選任について (2)顧問及び参事の委嘱について (3)評議員選任・解任委員(外部委員)の選任について (4)経理規程の改正について
令和6年3月15日 【書面審議】	(1)令和5年度 第2回評議員会の開催について
令和6年3月26日	(1)令和5年度 一般会計(第一次)補正予算(案)について (2)経理規程の改定について (3)令和6年度 事業計画・収支予算(案)について

②評議員会の開催

開催日	内 容
令和5年6月27日	(1)理事の選任について (2)監事の選任について (3)令和4年度 事業報告(案)ならびに一般会計収支決算(案)の承認について (4)定款の変更について
令和6年3月26日	(1)令和5年度 一般会計(第一次)補正予算(案)について (2)経理規程の改定について (3)令和6年度 事業計画・収支予算(案)について

③評議員選任・解任委員会の開催

開催日	内 容
令和5年6月16日 【書面審議】	(1)評議員の選任について

(3) 監事会の開催と中間会計監査の実施

開催日	内 容
会計監査 令和5年5月11日	(1)令和4年度 決算に関する監査について
本監査 令和5年5月16日	(1)令和4年度 事業報告ならびに決算に関する監事監査について
中間会計監査 令和6年1月26日	(1)令和5年度 中間監査について

(4) 専門委員会の開催

①ボランティア委員会

開催日	内 容
令和6年2月29日	(1) 令和5年度の中間報告について (2) 令和6年度の事業計画について (3) その他

※生活福祉資金調査委員会、組織・財政委員会、事業推進委員会は、未開催

(5) 理事・監事・評議員等を対象とする研修会の開催

①地域福祉推進セミナー（市・区社協役員研修）の共催

開催日	内 容
令和6年1月22日	<テーマ>一人ひとりを認めあう地域社会へ ～共に生きる、幸せな暮らし～ <講師> 奥田 知志 氏（NPO法人 抱樸理事長）

(6) 各世帯および企業への賛助会員募集活動の強化による加入促進

①募集期間：令和5年4月～令和6年3月末

②実績額：12,904,255円

2) 企画広報事業

〔成果〕

第71回伏見区社会福祉大会について、地域福祉の発展に功績のあった方々への表彰、共に生きる「福祉のまち伏見」の実現に向けた講演会の開催、区内の地域福祉関係者の交流懇親を図ることができました。

〔課題〕

「第4期伏見区地域福祉活動計画」の振り返り及び、「第5期伏見区地域福祉活動計画」の策定について、法人全体で共有する機会としての活用が求められています。

(1) 第4期伏見区地域福祉活動計画の推進

学区社協懇談会を通じて、地域の現状や学区社協の課題について把握に努めました。また、区内の各種ネットワーク・諸会議に引き続き参加し、多様な団体・機関と連携し、地域を支える仕組みづくりの構築に努めました。

(2) 第71回伏見区社会福祉大会の開催

開催日	内容
令和5年11月6日	会場：リーガロイヤルホテル京都2階「朱雀・春秋の間」 第I部 式典及び表彰式 (1)表彰状授与・感謝状贈呈 ①社会福祉事業功労者表彰 ②ボランティア・市民活動表彰 ③社会福祉活動協力者（感謝状） (2)大会宣言 第II部 記念講演第4部交流懇親会 演題 「災害に強い福祉のまちを」 講師 一般財団法人日本消防設備安全センター 大阪支所長 山内 博貴 様 第III部 交流懇親会

(3) 伏見区社協会長表彰審査会の開催【再掲】

①区社協会長表彰並びに感謝状の贈呈

社会福祉事業功労者表彰（学区社協役員等）	8名
〃（民生委員・児童委員）	2名
〃（老人福祉員）	2名
〃（社会福祉施設役職員）	2名
〃（社会福祉関係団体役員及び職員）	3名
ボランティア・市民活動表彰（個人）	14名
社会福祉活動協力者感謝状（個人）	2名
〃（グループ）	11団体

②厚生労働大臣表彰への推薦

なし

③全社協会長表彰への推薦

なし

④市長表彰への推薦

◇社会福祉事業団体関係功労者2名

⑤市社協会長表彰への推薦

◇地域福祉活動表彰（社会福祉協議会）1団体

◇社会福祉事業特別功労者表彰（社会福祉協議会役員）19名

〃 （民生委員・児童委員）5名

〃 （老人福祉員）18名

◇社会福祉事業特別功労者表彰（社会福祉団体役職員）2名

◇社会福祉事業奉仕活動表彰（ボランティア）10名

◇社会福祉活動協力者表彰（感謝状贈呈団体）なし

（4）広報紙「伏見区社協だより」の発行

発行月	内容
令和5年4月	内容：賛助会員募集特別号「賛助会員への加入のお願い」 部数：約61,500部

（5）ホームページの充実

講座・研修開催等の告知や、本会の発行した広報物を掲載するなど、情報発信を行いました。

3) 基金運営事業

〔成果〕

なし

〔課題〕

金利状況を注視し、基金果実の還元が見込める金融商品の活用について、検討を行う必要があります。

（1）基金の造成

①老人福祉基金22,560,000円 ②児童福祉基金15,785,306円

（2）基金果実の還元

①老人福祉基金未実施 ②児童福祉基金未実施

2. セーフティネット事業

1) 日常生活自立支援事業

〔 成 果 〕

年度末の統計では契約者数 101 名（認知症高齢者 31 名、知的障害者 36 名、精神障害者 29 名、その他 5 名）となりました。

認知症や障害の症状が進行し、当事業の契約継続が困難になったケースについて、各行政担当課や京都市長寿すこやかセンター、その他の関係機関等とも協議し、成年後見制度へ円滑に移行できるよう対応しました。

さらに、生活支援員交流研修会を開催し、区社協からの情報提供、グループ懇談を通じて、支援内容の振り返りや情報共有を図りました。

〔 課 題 〕

引続き、生活支援員の確保・養成が課題であり、養成研修開催時に、より身近な地域での広報・周知の強化を図り、研修会受講者の増加および登録者の確保に向けた取組を強化します。

また、利用待機者の滞留を防止するため、専門員間の情報共有を強化し、安定した契約数の確保に努めていきます。

(1) 福祉サービスの利用援助と日常的金銭管理サービス等の実施

①新規契約数および解約数

	認知症	知的障害	精神障害	その他	合計
新規契約数	8	6	7	1	22
解約数	10	2	6	6	24

②契約状況

		相 談 区 分				合 計
		認知症	知的障害	精神障害	その他	
伏見本所・深草	年度当初	21	21	23	2	67
	年度末	19	24	20	2	65
醍 醐	年度当初	11	10	7	7	35
	年度末	12	12	9	3	36
合 計	年度当初	32	31	30	9	102
	年度末	31	36	29	5	101

※その他：認知症の診断や障害者手帳はないものの、判断力に不安がある方

(2) 利用申請者の安定した契約の実施

①利用待機状況

		伏見本所・ 深 草	醍 醐	合 計
待機者数	年度当初	19	24	43
	年 度 末	30	20	50

(3) 成年後見制度への円滑な連携

認知症や障害の症状が進行し、当事業の契約継続が困難になったケースについて、行政や京都市長寿すこやかセンター、その他の関係機関等とも協議し、スムーズに成年後見制度へ移行できるよう対応しました（令和5年度実績：9件）

(4) 生活支援員の確保・養成

①登録・活動状況

		伏見本所・ 深 草	醍 醐	合 計
登録者数	年度当初	53	15	68
	年 度 末	53	15	68
活動者数	年度当初	23	10	33
	年 度 末	23	10	33

(5) 生活支援員交流研修会の開催

開 催 日	内 容
令和6年3月18日 醍醐交流会館	(1)情報提供 (2)グループ懇談 (3)参加者：生活支援員 21名

(6) サービス担当者会議への参加と関係機関との連携 特になし

2) 生活福祉資金貸付事業

〔成果〕

教育支援資金の面談や申請件数が全体の約7割で、進学を支えるセーフティネットとして、大きな役割を果たしています。貸付後も民生児童委員をはじめとした関係機関・団体と連携し、生活課題を把握した上で、改善に向けて支援しました。

〔課題〕

福祉的な相談支援として、利用者の自立につながるよう、民生児童委員や府社協、その他の関係機関と連携を強化し、協働して対応していくことが必要です。事業についての理解を進めるために、適切な事業周知を行うことが求められています。

(1) 生活福祉資金調査委員会

開催日	内 容
令和5年8月25日 伏見区役所深草支所 第1会議室	(1) 生活福祉資金住宅改修費の貸付申請について（審査） (2) 生活福祉資金貸付事業（4～8月）現状について (3) その他

(2) 生活福祉資金貸付事業説明会

開催日	内 容
令和5年11月2日 栗陵中学校	(1) 令和5年度 教育支援資金の説明 (2) その他

(3) 生活福祉資金相談・貸付の状況

資金種別		決定件数	貸付決定金額
総合支援資金		4	1,850,000
福祉 資金	福祉費	技能習得	4,092,000
		転宅	458,000
	一般福祉	10,648,800	
緊急小口資金		13	884,000
教育 支援 資金	教育支援費	138	45,887,000
	就学支度費	147	43,673,000
合計		353	107,492,800

3. ボランティアセンター事業

〔成果〕

福祉教育の実施回数が昨年度よりも増えました。特に、青少年の福祉体験事業「ユースアクション2023」は、区内の中学校・高校に向けた広報期間を十分に確保したこともあり、参加者数、体験受入先ともに大きく増加しました。

また、ボランティア入門講座やふれあいプラザ（本所・深草）での啓発活動等、ボランティアグループ連絡会との連携に、引き続き取り組むことができました。

〔 課 題 〕

区災害ボランティアセンター設置候補地における実践的な設置・運営訓練が次年度への継続課題として持ち越しとなりました。設置候補先も含めた関係機関と、平常時より連携し、災害時に備えた取組を推進していきます。

1) ボランティア委員会の開催

開催日	議題
令和6年2月29日	① 令和5年度 伏見区ボランティアセンター中間報告について ② 令和6年度の事業計画について

2) ボランティアに関する相談及びコーディネート

実施体制	兼任職員3名体制で実施
開設日	窓口・電話相談：月～金（9時00分～17時00分） ※FAX・Eメールによる対応あり
年間件数	488件
内 容	「ボランティアをしたい・してほしい」、地域活動の情報、講座情報、助成金等に関する相談・コーディネートを実施。

(1) 会議室の貸出

貸出件数	292件	延べ利用人数	4,386人
------	------	--------	--------

(2) 備品の貸出

貸出件数	296件（印刷機器 151件 その他機材 145件）
貸出物品	車イス、プロジェクター、スクリーン、コンパクトスピーカー、パソコン、印刷機、丁合機、紙折機

3) ボランティア保険の取扱いと加入促進

ボランティア保険	191団体・1,061名	行事保険	203件・15,637名
----------	--------------	------	--------------

4) 地域における福祉教育・ボランティア学習推進事業の実施

(1) 青少年の福祉体験事業「ユースアクション 2023」の実施

開催日	内 容
令和5年8月16日	いきいきサロンで体操&レクリエーション体験①(本所) 【協力機関】伏見老人福祉センター 【参加者】2名
令和5年8月16日	いきいきサロンで体操&レクリエーション体験②(醍醐) 【協力機関】醍醐老人福祉センター 【参加者】2名
令和5年8月22日	子どもの居場所 小学生への学習支援! 【協力機関】藤の木子ども食堂 【参加者】3名
令和5年8月2日	「ボランティアねこの手」高齢者サロンで一緒に体験! 【協力機関】ボランティア「ねこの手」 【参加者】1名

(2) 地域での「福祉教育」「ボランティア学習事業」の推進

開催日	内 容
令和6年5月29日	東稜高校「車いす体験」 【対象】東稜高校(40名)
令和5年9月5日、 6日、10月3日、 4日、24日、25日、 11月7日	京都聖母学院高校「福祉教育」 【対象】京都聖母学院高校2年生(37名) 京都聖母学院高校3年生(22名) 【協力】深草学区社会福祉協議会 深草学区民生児童委員協議会 深草中部地域包括支援センター 京都市長寿すこやかセンター 若年性認知症当事者 京都市地域リハビリテーション推進センター 伏見区ボランティアグループ連絡会
令和5年5月24日、 7月5日、8月30日、 9月27日、11月8日	深草中学校「福祉教育」 【対象】深草中学校 延べ360名
令和5年8月30日	住吉小学校「車いす体験」 【対象】住吉小学校 延べ56名

令和5年11月28日	納所小学校 「認知症学習、車いす体験」 【対象】納所小学校 延べ40名
令和5年11月16日	砂川小学校 「認知症学習、車いす体験」 【対象】砂川小学校 延べ78名
令和5年11月15日	京都教育大学附属高等学校 セクシャルマイノリティについて 「思いを聴く～当事者・当事者家族の思い～」 【対象】京都教育大学附属高等学校 延べ31名
令和5年12月5日	稲荷小学校 「認知症学習、車いす体験」 【対象】稲荷小学校 延べ25名

5) 伏見区災害ボランティアセンターの基盤整備

伏見区総合防災訓練への参加

開催日	内容
令和5年12月10日	【場所】醍醐寺 【内容】伏見区災害ボランティアセンターマニュアルに基づいた設置・運営訓練 伏見区災害ボランティアセンターの周知・啓発

6) 伏見区ボランティアセンターだより「ボランティアF」の発行

【各500部発行】

発行月	内容
令和5年5月	伏見区ボランティアセンターよりお知らせ
令和5年8月	伏見区ボランティアセンターよりお知らせ 伏見区ボランティアグループ連絡会 令和5年度研修会実施報告
令和5年11月	ユースアクション2023 開催報告 ボランティアグループ連絡会 活動報告
令和6年2月	伏見区ボランティア入門講座 開催報告 福祉教育@京都聖母学院高校 開催報告 福祉ボランティア展 開催報告

7) 伏見区ボランティアグループ連絡会との連携強化

(1) 運営連絡会の開催

開催日	内 容
令和5年4月25日	(1) 令和5年度役員（代表・副代表・会計）の承認について (2) 部会（広報・研修）編成について (3) 令和4年度事業報告（案）及び決算（案）の承認について (4) 令和5年度事業計画（案）及び予算（案）の承認について (5) 各グループの活動状況について (6) 伏見区社協からの連絡事項 (7) その他
令和5年5月16日	(1) 各部会報告 (2) 春期研修交流会の実施について (3) ボランティア連絡会20周年記念行事について (4) 伏見区社協からの連絡事項 (5) 各グループ活動報告 (6) その他
令和5年6月20日	(1) 各部会報告 (2) 春期研修交流会実施報告 (3) 納涼祭について (4) 本会20周年記念事業実施に向けて (5) その他 (6) 伏見区社協からの連絡事項
令和5年7月18日	(1) 各部会報告 (2) 第15回納涼祭について (3) 令和5年ふれあいプラザ出店について (4) 福祉ボランティア展について (5) 伏見区社協からの連絡事項 (6) その他
令和5年9月26日	(1) 各部会 事業実施報告 (2) 深草ふれあいプラザ出店について (3) 秋期研修交流会の実施について (4) 20周年記念行事(あゆみの作成について) (5) 各グループの活動状況について (6) 伏見区社協からの連絡事項 (7) その他
令和5年10月17日	(1) 各部会報告 (2) 深草ふれあいプラザ出店報告

	<ul style="list-style-type: none"> (3) 秋期研修交流会の実施(決定)について (4) 機関紙「伏見のわ」48 (5) ボランティア入門講座協力体制について (6) 伏見区社協からの連絡事項 (7) その他
令和5年11月21日	<ul style="list-style-type: none"> (1) 各部会報告 (2) 秋期研修交流会の実施報告 (3) ボランティア入門講座(一部)報告と次回について (4) 令和6年新年会開催について (5) その他 (6) 伏見区社協からの連絡事項
令和6年1月16日	<ul style="list-style-type: none"> (1) 各部会報告 (2) 令和5年度ボランティア入門講座の振り返り (3) 醍醐朗読ボランティア ひびきさんの件 (4) 令和6年新年懇親会の実施について (5) その他 (6) 伏見区社協からの連絡事項
令和6年2月20日	<ul style="list-style-type: none"> (1) 各部会報告 (2) V連20周年記念事業の方向性について (3) その他 (4) 伏見区社協からの連絡事項
令和6年3月19日	<ul style="list-style-type: none"> (1) 各部会報告 (2) 令和5年度の活動のまとめと令和6年度の計画と予算等の検討 (3) 令和6年度役員選出の方法について (4) 各グループの活動報告(10月～3月まで) (5) その他 (6) 伏見区社協からの連絡事項

※その他、広報部会、研修部会を必要に応じて随時開催

(2) 懇談会、研修・交流事業

開催日	内 容
令和5年6月3日	春期の交流研修会(京都競馬場)
令和5年8月4日	納涼祭(黄桜カップカントリー)
令和5年11月17日	秋期交流研修会(梅小路公園)
令和6年1月16日	新年懇親会(伏見区社会福祉協議会第1会議室)

(3) 伏見区ボランティアグループ連絡会だより「伏見のわ」発行

【各号 500 部発行】

発行月	内 容
令和5年5月 第46号	・伏見区ボランティアグループ連絡会 令和4年度役員から のご挨拶 ・所属連絡会の紹介
令和5年8月 第47号	・ボランティア活動訪問記
令和5年11月 第48号	・ボランティア活動訪問記
令和6年2月 第49号	・秋期研修交流会の報告 ・ぶどうの会「グループ展」開催の報告 ・新年交流会開催の報告 ・大臣賞受賞の報告

8) 京都市福祉ボランティアセンターとの連携強化

- ・京都市福祉ボランティアセンター発行の広報誌「ボランティアーズ京都」配架
- ・区社協主催講座で京都市福祉ボランティアセンター主催の講座情報を案内
- ・令和5年度災害時要配慮者支援研修「多様な視点で地域の防災を考える～福祉・多様性・男女共同参画の視点から～」を共催

9) 知恵シルバーセンター事業への協力

- ・相談受付時に随時対応（令和5年度実績：12件）

4. 健康すこやか学級事業

〔 成 果 〕

前年度に引き続き、健康すこやか学級事業を再開される学区がさらに増え、実施回数が大幅に増加しました。開催時間の延長、昼食提供の再開等、コロナ禍前の形態への回帰がみられます。

健康すこやか学級活動交流会では、レクおよびクラフト講習会に加えて、参加者間の情報交換の場を設けることで、各学区におけるすこやか学級の現状や課題を共有することができました。

〔 課 題 〕

健康すこやか学級事業について、プログラムの充実や昼食提供に関連する問い合わせが増えてきており、学区社協からの照会に適切に回答できるよう多様な情報の蓄積に努めます。

1) 健康すこやか学級事業の支援

(1) 健康すこやか学級事業の実施回数

実施学区社会福祉協議会		令和5年度	令和4年度
深草	稲荷学区社会福祉協議会	10	9
	砂川学区社会福祉協議会	21	21
	深草学区社会福祉協議会	45	44
	藤森学区社会福祉協議会	66	51
	藤城学区社会福祉協議会	22	22
伏見	住吉学区社会福祉協議会	41	40
	板橋学区社会福祉協議会	35	38
	南浜学区社会福祉協議会	41	36
	桃山学区社会福祉協議会	26	22
	桃山東学区社会福祉協議会	37	0
	桃山南学区社会福祉協議会	22	8
	下鳥羽社会福祉協議会	55	49
	横大路学区社会福祉協議会	16	0
	納所社会福祉協議会	15	29
	向島学区社会福祉協議会	15	5
	向島南学区社会福祉協議会	16	17
	二の丸北学区社会福祉協議会	12	12
	二ノ丸学区社会福祉協議会	12	11
	藤ノ木学区社会福祉協議会	11	5
	久我地区社会福祉協議会	48	50
	羽束師地区社会福祉協議会	13	13
	淀学区社会福祉協議会	35	34
	淀南学区社会福祉協議会	98	93
	醍醐	北醍醐学区社会福祉協議会	44
醍醐西学区社会福祉協議会		8	13
醍醐学区社会福祉協議会		32	30
池田学区社会福祉協議会		45	43
池田東学区社会福祉協議会		29	8
小栗栖学区社会福祉協議会		11	11
小栗栖宮山学区社会福祉協議会		18	17
日野学区社会福祉協議会		50	44
春日野学区社会福祉協議会		24	24
合計		973	836

(2) 健康すこやか学級事業活動助成の交付

健康すこやか学級事業開催32学区に対して、7,785,000円を交付しました。

(3) 健康すこやか学級活動交流会の開催

開催日	場所	内容
令和5年7月12日	京都市呉竹文化センター 創造活動室	レクリエーション講習会
令和5年7月13日	伏見区役所 第5会議室	レクリエーション講習会
令和5年7月14日	醍醐消防分署講堂	レクリエーション講習会
令和5年10月20日	醍醐消防分署講堂	クラフト講習会
令和5年10月30日	伏見区役所 第5会議室	クラフト講習会
令和5年10月31日	伏見区役所 第5会議室	クラフト講習会

5. 地域支援事業

〔成果〕

社会全体が、コロナ禍から、これまでどおりの活動に戻ろうとする中、各学区社会福祉協議会においても「福祉のまちづくり事業」を中心に、積極的に実施していただくことができました。

〔課題〕

コロナ禍で活動を休止していた学区社会福祉協議会が、活動を再開される中、活動場所や担い手、参加者が集まらない等、運営上の課題が顕在化しています。このような課題に対して、学区社協関係者と一緒に解決に向けて支援していく必要があります。

1) 学区社会福祉協議会会長会議の開催

開催日	内容
令和5年6月27日	(1) 学区社協活動懇談会について (2) 学区社協助成について (3) その他

2) 福祉のまちづくり事業の推進

事業項目		実施学区数		助成金額	
(ア) 基本助成		32		2,656,000 円	
(イ) 賛助会費配分		31		7,097,340 円	
(ウ) 活動助成		学区数	実施数		
学びあう	広報・啓発活動	23	64	295,000 円	
	研修・学習活動	主催研修の開催	11	22	324,000 円
		外部研修への参加	25	91	
	実態把握・調査活動	18	31	145,000 円	
ふれあう	地域交流活動	22	61	275,000 円	
	居場所づくり・当事者サロン活動	24	226	1,000,000 円	
支え合う	寝具クリーニングサービス	18	18	731,540 円	
	ふれあい配食サービス	4	15	75,000 円	
合計				12,598,880 円	

3) 学区社協活動懇談会の開催

伏見区内の全学区社協で懇談会を開催しました。

懇談会では、改めて、人手不足、担い手と参加者ともに高齢化していることなど、率直な意見が出されました。出された課題や意見は、令和6年度に控える「第5期伏見区地域福祉活動計画」の基本となる情報として活用していきます。

4) 未設立学区における組織化への支援

学区	内容
竹田	地域ケア会議に参画し、顔の見える関係の構築を図っている。
久我の杜	民生児童委員協議会との協働を綿密に図っている。
石田	民生児童委員協議会との協働を綿密に図っている。

6. 生活支援事業

〔 成 果 〕

地域あんしん支援員設置事業は、支援会議・定期支援会議を通じて支援方針を組み立て、状況に応じて見直しを図り、関係機関との役割分担を随時確認しながら対象者への支援を継続してきました。また昨年度から意識的に取り組んできた、区社協内の各種事業や電話相談で課題を拾い継続的な関わりが望ましいと判断されるケースへの対応（以下、個別ケース相談）についても、行政や関係機関と連携をとりながら課題の整理と対応の検討について協議を行いました。

地域支え合い活動創出事業は、連絡会議や実務者会議等を開催し、繋がりが途切れることのないよう関係機関との情報共有、相談等を行いました。そして、関係機関と協力し、複数の高齢者の居場所の立ち上げ支援を行うことができました。また、高齢者サロンの必要性を再認識し、活動意欲の向上を図るべく、居場所の情報交換会を行いました。

〔 課 題 〕

次年度の下半期から重層支援会議が開始される予定のため、従来の分野の垣根を越えて複雑化・複合化した福祉課題や支援ニーズに対応するための会議の在り方について検討・提案していく必要があります。個別ケース相談についても引き続き局内外で連携を取りながら対応していきます。

支え合い活動創出事業においては、連絡会議などから買い物に不安や課題を抱えている地域が多くあることが分かった。今後、買い物支援に関する取組に向け地域の声を聞きながら、サービスの創出を目指していきます。

1)地域あんしん支援員設置事業への協力

(1) 支援状況

保健福祉センターを含む関係機関、区社協等から支援候補となるケースが挙げられた際には選定会議を開催し、支援の必要性や優先度、寄り添い支援の有効性を考慮し、ケースを選定しました。

支援開始時またはその後の支援会議で設定された福祉課題が解決された場合や、ご本人が引越しや死亡された場合などは終結となります。

	伏見本所	深草	醍醐	合計
新規選定	2	2	2	6
終結	3	1	3	7

支援件数 (年度内 終結含む)	9	9	12 (予備調査 1件含む)	30
-----------------------	---	---	----------------------	----

(2) 支援会議

支援ケースについて、解決すべき課題の確認、関係機関の役割分担の明確化、支援方針の決定を目的に、支援会議をおこないました。

伏見 本所	令和5年5月9日(支援方針の決定2ケース) 令和5年8月4日(支援方針の決定1ケース) 令和5年12月5日(支援方針の見直し2ケース) 令和6年1月26日(支援方針の決定1ケース)
深草	令和5年6月1日(支援方針の決定1ケース) 令和5年12月15日(支援方針の決定1ケース)
醍醐	令和6年3月8日(支援方針の決定1ケース)

(3) 定期支援会議

1ケースにつき半年に1回のペースで定期支援会議を開催しています。

全ケースについて支援の進捗状況を確認し、支援が膠着しているケースについては、支援方針の見直し、終結、経過観察の判断をおこないました。

伏見 本所	令和5年8月4日 (7件検討。うち2件終結。同時に支援会議、選定会議を1件ずつ開催) 令和6年2月16日(6件検討。うち1件終結)
深草	令和5年6月1日(7件検討。同時に1件の支援会議を開催) 令和6年1月31日(8件検討。うち1件終結)
醍醐	令和5年9月1日(10件検討) 令和6年2月9日(9件検討。うち2件終結)

(4) 支援ケースの概要

ケース選定後、その後の支援方針の組み立ての材料となるような情報収集を行う「予備調査」という期間を設け、対象者の生活、心身の状況や取り巻く環境等の実態把握を行います。予備調査をもとに把握した課題について、対象者は以下の6種類のどの課題があると考えられるか、支援会議を開き関係機関で情報共有を行い整理して支援の中でその課題の背景や原因を探り、解決を図ります。

以下のデータは予備調査後に開かれる第1回目の支援会議にて設定された課題数です。このなかには設定時よりも改善傾向にある課題も含まれています。

	孤立	利用拒否	困窮	ごみ堆積	就労	その他
10代 (1名)	1			1		1
20代 (3名)	1	2	1		1	2
30代 (6名)	5	1	2	2	1	1
40代 (5名)	5	3	2	2	4	1
50代 (7名)	4	3	5	3		2
60代 (2名)	2	1	1			
70代 (5名)	5	4	1	3		1
80代 (1名)		1		1		
課題別	23	15	12	12	6	8

※令和5年度に支援を行った本所・深草・醍醐の全30ケース（うち1ケースは予備調査中のため課題は未設定）の課題内訳です。複数の課題設定をしているケースが大多数を占めます。令和5年度末までに終結となったケースの課題も含まれます。

2)地域支え合い活動創出事業への協力

(1)生活支援サービス創出の企画・支援

地域支え合い活動調整会議（連絡会議）の運営

説明 地域住民、関係機関、福祉事業所、専門職集団、医療機関、区役所担当部局の代表に参加いただき、本事業を説明・報告する会議です。ここで出された意見を参考に、事業の運営、生活課題の選定を行います。

深草	第1回：令和5年7月20日（木） 第2回：令和5年11月16日（木） 第3回：令和6年3月21日（木）
本所	第1回：令和5年7月13日（木） 第2回：令和6年3月14日（木）
醍醐	第1回：令和5年6月28日（水） 第2回：令和6年2月28日（水）

(2) 地域支え合い活動調整会議（実務者会議）の運営

<p>説明</p>	<p>連絡会議や地域ケア会議等で出た意見を基に、区・支所ごとに「生活課題」を選定し、具体的な解決に取り組みます。</p>
<p>深草</p>	<p>取組：「スマホミーティング」スマホコンシェルジュの取り組みにおいて、深草南部地域包括支援センターと共に作るスマホサロンの検討のため実務者会議を行った。令和6年4月15日より墨染のふれあいOKADAにてスマホサロンを開始することが決まった。</p>
<p>本所</p>	<p>取組：「スマホミーティング」昨年度より伏見老人福祉センターにてスマホコンシェルジュの養成講座を行いスマホコンシェルジュとして出来る地域の支え合いについて実務者会議にて検討を行った。地域イベントでのスマホ相談ブースの出展やスマホカフェについて検討し、2か所でのイベント出展ができ、令和6年度から深草、本所で1か所ずつスマホカフェの立ち上げを行うことが出来た。</p> <p>「男の料理教室」南浜学区において男性の孤食解消の取組みについて検討する実務者会議を行った。民生委員、学区社会福祉協議会他、福祉事業所と共に検討を重ね、2月17日にプレ男の料理教室を実施したところ6名の参加があり、好評を得た。令和6年度より本開催することが決定した。</p> <p>「板橋学区おしゃべりサロン」板橋学区において、高齢者サロンの開催に向け実務者会議を行った。板橋学区の地縁団体と福祉事業所と共に検討を重ね、令和6年5月より月2回サロンを開催することになった。</p> <p>「菱川町買い物支援」昨年度から生協の移動販売に来てもらっていたが、利用者が低迷していることもあり、実務者会議にて状況の整理と改善について検討した。移動販売の曜日と時間の変更を行うと共に、移動販売の開始時間の30分前に集まり、体操教室を開催することになった。結果、集客も以前の倍近く伸び、介護予防の取り組みも始めることが出来た。</p> <p>「公園体操はじめよう会」独自型入門講座の受講者を対象に公園体操を始めるための実務者会議を行った。横大路学区にて令和6年度より1か所公園体操を立ち上げることが出来た。</p> <p>「藤ノ木居場所立ち上げ」藤ノ木学区において、高齢者サ</p>

	ロンの立ち上げを目的として実務者会議を行った。令和6年4月より藤ノ木セカンドハウスにて月1回のサロン立ち上げを行うことが出来た。
醍醐	取組： 「オレンジカフェ」包括支援センターとの連携のもと、地域の高齢者が気軽に利用できる開かれた地域の居場所とするため実務者会議を開催し、オレンジカフェの円滑な開催に寄与することができた。

(3) 生活支援の担い手養成

各区共通 地域支え合い活動入門講座「標準型」	
深草	第1回：令和5年8月29日（火）
本所	第1回：令和5年8月29日（火）
醍醐	第1回：令和5年9月5日（火）

区独自 地域支え合い活動入門講座「独自型」(本所)	
日時	令和5年5月30日（火）10:00～12:00
場所	伏見老人福祉センター
内容	スマホコンシェルジュ講座を受講している方を対象に入門講座を開催。 「高齢者を取り巻く状況と地域の支え合い活動」 「高齢者を支援する支え合い活動の実際」 「わたしなら何が出来る？何がしたい？」をテーマにグループワーク

区独自 地域支え合い活動入門講座「独自型」(本所)	
日時	令和5年10月2日（月）11:00～12:00
場所	伏見区役所 神川出張所 会議室
内容	「高齢者を取り巻く状況と地域の支え合い活動の推進」 「こんな居場所があったらいいな」をテーマにグループワーク

区独自 地域支え合い活動入門講座「独自型」(本所)	
日時	令和5年11月29日（木）14:00～16:00
場所	伏見区役所 講堂
内容	「高齢者を取り巻く状況と地域の支え合い活動の推進」 「介護予防・グループ活動のメリットについて」 「濱先生の公園体操レクチャー」 「先輩公園体操リーダーへのインタビュー」

区独自 地域支え合い活動入門講座「フォローアップ型」(本所・深草・醍醐)
日時 令和5年12月1日(金) 14:00~16:00
場所 深草支所 4階 第3会議室
内容 「住み慣れた地域で暮らし続けるための支え合いを広めよう!!」 「3団体からの活動報告」

(4) 関係者のネットワーク化

①情報交換会の開催

伏見区地域支え合い活動の推進に関する高齢分野等の情報交換会の開催
第1回(深草管内)
日時 令和5年5月23日(火) 14:00~15:30
場所 京エコロジーセンター
内容 『高齢者サロン運営者の情報交換会』
○笑いの健康体操でイキイキ元気!
講師: 笑いヨガインストラクター 山添 裕子氏
○グループワーク: 情報交換
<参加団体> 高齢者サロン実施団体 7団体
(深草管内)
日時 令和5年9月30日(土) 14:00~16:00
場所 京都教育大学
内容 まちのベンチ情報交流会
○「わがまち」の取り組み紹介
・置きベン【チーム上京! 対話之町京都ヲ目指ス上京】
・赤いベンチプロジェクト【大阪市城東区 関目地域活動協議会】
・とまり木休憩所【とまり木休憩所実行委員会】
・おでかけベンチ【深草・竹やすらぎの会】
○ワークショップ
「みんなでベンチを語ろう」
<参加者数> 事業者・団体・関係機関計74名
第2回(深草管内)
日時 令和5年11月17日(金) 14:00~15:30
場所 京エコロジーセンター
内容 『高齢者サロン運営者の情報交換会』
○『レクリエーション紹介』
講師: 生きいきサロンサポーター 山本 勝氏、船越 清美氏
○グループワーク: 「みんなでつくりあげる」をテーマに交流
<参加団体> 高齢者サロン実施団体5団体

第1回（本所・深草・醍醐）

日時 令和6年2月14日（水）14:00～15:45

場所 伏見区役所深草支所4階第3会議室

内容 「高齢者の居場所に関する情報交換会」

○講義「身近な地域にある居場所の意義について」

講師：大谷大学 社会学部コミュニティデザイン学科

教授 志藤 修史氏

○情報交換・フリップボードディスカッション

<参加者数>事業者・団体・関係機関計34名

第1回（京都市域）

日時 令和6年2月22日（木）14:00～16:00

場所 伏見区役所深草支所4階第3会議室

内容 「生活支援活動に関する情報交換会」

○講義「これからの生活支援 安心して暮らし続ける地域づくり ～よりそいとつながり～」

講師：京都市社会福祉協議会 地域支援部 部長 横井 真氏

○情報交換・フリップボードディスカッション

<参加者数>事業者・団体・関係機関計10名

②地域共生社会を見据えた各種会議への参画

多世代多分野における情報交流の場「ふかくしゃべり場」の実施

日時 月1回第3水曜 15:00～16:00 （年12回実施）

場所 ふかふか家

参加者 高齢分野、障害分野、子育て分野等世代分野を越えた団体

地域住民のだれもが外出しやすいまちづくりを目指したプロジェクト「とまり木ベンチ休憩所実行委員会」への参画

日時 月1回午後 （年10回実施）

場所 墨染まちとくらしセンター

参加者 藤森・藤城学区各種団体、深草南部地域包括支援センター等

高齢者、障害者をはじめとする外出しにくい方々が参加できる取組創出のネットワーク会議「団地カフェ実行委員会」の開催

日時 月1回第3金曜 10:00～11:00（実行委員会：年9回実施）

場所 あじさい苑

参加者 地域住民、愛隣館、あじさい苑、向島地域包括支援センター、京都府リハビリテーションセンター

[団地カフェの開催 令和5年6月19日（月） 10:30～14:00 参加者56名

令和4年11月27日（月） 10:30～14:00 参加者65名

高齢者の新たな居場所創出を目指すネットワーク会議「みなネット」の共同運営

日 時 月 1 回概ね第 4 木曜 14:00～15:30 (年 7 回実施)

場 所 伏見区社協・伏見区役所

参加者 南浜学区各種団体、介護保険事業所、下鳥羽地域包括支援センター等

深草サロン交流会・打合せ

日 時 月 1 回 (年 12 回実施)

場 所 オンライン(zoom)、深草中部地域包括支援センター

参加者 深草北部地域包括支援センター、深草中部地域包括支援センター

(5) 地域のニーズと資源の見える化

- ①居場所運営団体の現状の情報収集
- ② 通いの場の情報発信をホームページに掲載
- ③関係機関と連携し事例集やつながりあえる冊子、マップの作成

・伏見区お役立ち情報集

<連携先> 伏見区保健師等専門職部会

・醍醐ふれあい・支え合いマップ第 4 弾作成

<連携先> 醍醐支所健康長寿推進課、

醍醐北部地域包括支援センター、醍醐南部地域包括支援センター、

深草醍醐地域介護予防推進センター、醍醐いきいき市民活動センター

(6) その他の取り組み

- ①地域の居場所やサロンでの研修実施、情報提供
- ②京都生協との情報交換の実施

3) チャレンジ就労体験事業の推進<市社協連携>

種別	受入施設
障 害	福祉工房 P&P 就労継続支援事業所 キャッチアップ 京都市ふしみ学園 京都市伏見障害者授産所 愛隣デイサービスセンター 京都フレンドリーハウス醍醐作業所 京都市だいが学園 モーツァルト七瀬川つつみ B 型支援事業所カイコウ G エミ・クラフト

高 齢	特別養護老人ホーム フジの園 特別養護老人ホーム みやびのその デイサービスセンターみやびのその ケアハウス プラスしこうえん 高齢者福祉施設 久我の杜 特別養護老人ホーム 同和園 伏見老人デイサービスセンター 醍醐老人デイサービスセンター 伏見老人福祉センター 醍醐老人福祉センター		
児 童	春日野児童館 藤森竹田児童館 醍醐中央児童館 辰巳児童館		
その他	京都生活協同組合 コープ桃山店 京都生活協同組合 コープ醍醐石田店 ワークスコープ 京都地域福祉事業所 伏見中央図書館 醍醐中央図書館 伏見区社会福祉協議会		
	深草	本所	醍醐
居住地別 利用者数 (1日体験含む)	5	15	11

4) 企業との連携による高齢者等見守り活動<市社協連携>

企業名	対応件数
京都生協	12件
京滋ヤクルト	0件

5) よりそい支援員設置事業への協力

区役所・支所が主催する「ひきこもり支援調整会議」において、よりそい支援員が担当する事例検討への参加や、区内の社会資源に関する情報提供を行いました。

6) オレンジカフェ伏見（認知症支援事業）の開催

新型コロナウイルス感染症の影響で令和3年4月から令和5年8月まで休止を続けていましたが、ボランティアスタッフの皆様との話し合いのもと、令和5年9月より再開いたしました。休止期間が長かったため令和5年度下半期の開催は周知先を限定したり時間を短く設定したりと小規模な開催方法を取り、オレンジカフェの在り方を再度模索し始めた期間となりました。

日付	レクリエーション	参加者数	担い手数	関係機関
9/21	グーパー体操 ピンポン五目並べ 体操	3	7	2
10/19	歌体操 牛乳パックで小物入れ作り	5	7	1
11/16	歌体操 卓球バレー	4	6	1
12/21	歌体操 ピンポンバスケットイン	1	5	0
1/18	歌体操 紙コップで節分クラフト	1	7	0
2/15	歌体操 リズムでセッション！ 足で新聞ちぎり 足でペットボトル立て	2	7	0
3/21	歌体操 カレンダーすごろく	1	6	0

7. 地域福祉ネットワーク事業

〔 成 果 〕

「地域福祉推進シンポジウム」の開催を通じて、地域や関係者への普及啓発、理解促進に努めました。さらに、地域福祉推進委員会ホームページ掲載の相談窓口や社会資源情報を追加し、最新の情報に更新しました。

また、区内の保健、医療、教育等の様々な会議に積極的に参加し、ネットワーク強化に努めました。

〔 課 題 〕

相談窓口や社会資源情報の収集・整理と発信、社会福祉施設の地域公益的取組の把握・発信等の取組が不十分な面もあったため、次年度以降、取組の充実に努めます。

1) 伏見区地域福祉推進委員会の開催

(1) 委員会の開催

	第1回	第2回
日時	令和5年6月9日(水)	令和6年3月26日(火)
会場	醍醐消防分署講堂	醍醐支所3階会議室
内容	・令和4年度事業報告(案)並びに決算(案)について	・令和5年度主な取組事業紹介について

(2) 地域福祉推進シンポジウムの開催

開催日	令和5年10月4日(水)
事業名	「障がい児者の地域生活を考える伏見区民のつどい・2023」
内容等	国連勧告が問う! 「分離に慣れ親しんだ社会」 ～ともに学び、ともに生きる社会への課題」 DPI 日本会議副議長 尾上浩二氏
会場	伏見区総合庁舎4階大会議室
参加者	学区社協役員、民生児童委員、関係機関、当事者 他90人

開催日	令和5年11月6日(月)
事業名	令和5年度 伏見区地域福祉推進講演会
内容等	テーマ:災害に強い福祉のまちを～ これまでも、これからも目指して 講師:日本消防設備安全センター大阪支所長 山内博貴
会場	リーガロイヤルホテル京都
参加者	学区社協役員、民生児童委員、関係機関 他166人

開催日	令和6年1月27日(土)
事業名	福祉のまち醍醐交流大会 講演会
内容等	忠犬ハチ公はなぜ待ち続けて死んだのか -ハチは知っていた! 我々は、どこを生き、何を求めて生きているのか- 京都大学大学院 人間・環境学研究科 研究員 佐藤泰子氏
会場	醍醐交流会館ホール
参加者	学区社協役員、民生児童委員、関係機関他201人

(3) 相談窓口や社会資源情報の収集・整理と発信

地域支え合い活動創出コーディネーターとの協働により、「伏見区 高齢者の居場所情報」をホームページに掲載しており、一部情報更新を行った。今後も、区内の高齢者居場所を訪問し、内容の充実を図る。

(4) 社会福祉施設の地域公益的取組の把握・発信等

社会福祉法人が多機能な複合施設として運営している拠点において展開している公益的取組みについて情報収集および意見交換を行った。

一部は、関係ネットワークの発行する広報誌に寄稿し、来年度発行されることになっている。

2) 南部・東部障害者地域自立支援協議会への参画

(1) 運営会議・全体会議への参加

(2) 地域懇談会の協力（南部・東部障害者地域自立支援協議会）

(3) 災害対策部会、事務局会議等の開催

3) 関係団体・施設の連絡会議等への参加・連携

(1) 伏見・深草・醍醐地域包括支援センター運営協議会および運営会議への参画

(2) 地域包括支援センターとの連携および地域ケア会議への参加

(3) 伏見地域、深草・醍醐地域介護予防推進センターとの連携強化

(4) 伏見・深草子どもネットワークおよび醍醐子育て支援ネットワークへの参加

(5) 伏見区こころの健康ふれあいネットワークへの参画

4) 子どもの居場所づくり「支援の輪」サポート事業への協力

開催日	令和5年8月31日（木）
事業名	1日クッキングスクール
内容等	テーマ「コスパよし！子どもが喜ぶメニュー♪」 講師 ラ・キャリエールクッキングスクール ・子ども食堂で実施可能なメニューの紹介、デモンストレーション ・参加者による調理（肉たっぷりキンパ風巻きずし・手作りチキンナゲット・クレープシュゼット）
会場	ラ・キャリエールクッキングスクール
参加者	子どもの居場所運営団体、学区社協役員、関係機関 他 16人

開催日	令和6年1月12日(木)
事業名	伏見区子どもの居場所助成金活用セミナー
内容等	講師 特定非営利活動法人きょうと NPO センター 土坂のり子氏 ・活動の運営資金についての基礎知識、助成金情報の探し方、申請書の書き方の解説 ・申請書作成ワーク
会場	呉竹文化センター
参加者	子どもの居場所運営団体、学区社協役員 他 12人

8. 共同募金配分金事業

〔 成果 〕

関係団体やボランティアグループへの助成金の使途や事業の効果等を検証したうえで、活動継続にあたって必要な支援をより早期に行う事ができました。また、京都府内の社会福祉協議会を対象とした助成プログラムに応募し、内定しましたのでその助成金を活用して生活困窮者を対象とした相談事業及び食料配布事業を実施しました。

〔 課題 〕

事業が再開、拡大されることが想定される中、募金額は減少する一方です。そのため、引き続き赤い羽根共同募金の啓発活動についてより強化していく必要があります。区社協内で把握している課題への取り組みに助成プログラムの活用が効果的だと判断した場合は、応募を検討します。

1) 地域福祉・ボランティア活動助成審査会の開催

参集型の審査会開催が困難なため、書面審査を行いました。

2) 学区社協活動助成の交付

(1) 学び合う活動(広報・啓発・懇談会等)	764,000円
(2) ふれあう活動(地域交流活動・居場所サロン)	1,275,000円
(3) 支えあう活動(寝具クリーニング・配食サービス)	806,540円

3) 社会福祉団体助成基準に基づく活動助成の交付

4) ボランティア・市民活動グループへの活動助成の交付

山科少年補導委員会（醍醐地区）	伏見区交通安全推進委員会連合会	伏見区老人クラブ連合会
伏見区身体障害者団体連合会	京都手をつなぐ育成会伏見支部	伏見区地域女性連合会
伏見少年補導委員会	伏見保育士会	醍醐保育士会
伏見区ひとり親家庭福祉連合会	伏見区保護司会	伏見区遺族連合
伏見区更生保護女性会	伏見区体育振興会連合会	
手話サークル ともだち	醍醐朗読ボランティアの会 ひびき	ボランティア ねこの手
京都 YMCA こおろぎ	ぶどうの会	要約筆記サークル かたつむり
点訳サークルてんてん	花水木の会	

助成総額 892,000 円

5) 京都府内の社会福祉協議会を対象とした助成プログラムへの応募・活用

京都府共同募金会が京都府内の社会福祉協議会を対象に募集を行った「赤い羽根 ポスト・コロナ（新型コロナウイルス）社会に向けた福祉活動応援キャンペーン 生活困窮者への緊急支援活動助成」に応募し、内定したためその助成金を活用して伏見区社会福祉協議会にて生活困窮者を対象とした相談事業及び食料配布事業を行いました。

事業名	生活困窮者を対象とした相談事業および食料配布事業
助成金額	100,000 円
配布物内容	長期保存が可能なレトルト食品・缶詰・パスタ麺・パスタソース などの食料・飲料 食器用洗剤・スポンジ・生理用品などの日用品
頻度・利用者数	15 名分
実施期間	令和 6 年 2 月 15 日～令和 6 年 3 月 31 日
実施場所	区社協内の他事業内での相談や電話相談で困窮状態を聞き取った場合にご案内。受け取りは伏見区社会福祉協議会もしくは相談者宅

社会福祉法人 京都市伏見区社会福祉協議会

〒612-8318

京都市伏見区紙子屋町 544 番地

京都市伏見区社会福祉総合センター2F

T E L 075 (603) 1287

075 (604) 6541〔相談専用〕

F A X 075 (603) 4532

醍醐分室

〒601-1375

京都市伏見区醍醐高畑町 30-1

京都市醍醐老人福祉センター内

T E L 075 (575) 2070

F A X 075 (573) 8314